

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	馬込ここわ保育園
法人名	株式会社ディアローク
法人所在地	東京都渋谷区渋谷3-8-12 渋谷第一生命ビルディング7階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

当園が開園以来継続して行っている教育活動の中の【英語】を活かしながら【ことば】についての探究活動を実践し、非認知能力の向上等の保育内容の充実を図ります。

<テーマの設定理由>

当園は開園以来、外国人講師が週2日来園し、英語で子どもたちと接してきました。レッスンでは保育者も生徒として園児と一緒にレッスンを受け、園児に寄り添ってきました。このように当園では、英語が園児にとって身近な興味となっていることから英語のみならず、韓国語、マレー語など普段話している日本語も含めて「ことば」をテーマとして設定しました。



2. 活動スケジュール

【問い】発話の無い、あるいは少しの乳児が、週2日来園する英語講師が自分たちに話しかけることば（英語）と保育者や保護者が発することば（日本語）とを区別しているのだろうか？

【流れ】英語講師の来園日には、英語の歌を歌ったり、英語絵本の読み聞かせなどを行い、保育者は子どもたちと一緒に参加します。また自由遊びの時間に保育者が日本語絵本の読み聞かせをする際、英語講師は子どもたちと一緒に参加します。このように、子どもも大人も一緒に英語と日本語ということばを共有します。発話が難しい乳児も日本語、英語の音を聴きことばを共有します。

【探究活動の実践と記録】英語活動の際には保育者が記録し、日本語活動の際には保育者とともに英語講師も記録し、特に子どもが英語を発している際のことばや音の聞き分けを担当しました。

* 読み聞かせ：英語絵本は外国人英語講師が読み聞かせ、日本語絵本は保育者が読み聞かせます。

* 歌：英語の歌は外国人英語講師が歌を歌い、日本語の歌は保育者が歌います。

* 手遊び歌：英語の手遊びは外国人英語講師が英語で行い、日本の手遊び歌は保育者が行います。

【振り返りや共有】毎月月末に英語講師と職員のブリーフィングをおこなっているので、そこで探究活動の共有を行い、次月の問いを考え環境設定や探究活動のスケジュールを話し合います。保育者同士は職員会議で振り返りや共有を行います。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境設定】英語講師の来園日に探究活動を行うよう環境を設定しました。

【素材】

* 同じ作者の日本語と英語の絵本：エリックカールの「はらぺこあおむし」と"The very hungry caterpillar"

* 同じ手遊び歌の日本語バージョンと英語バージョン：「グーチョキパーでなにつくろう」と"Rock scissors paper finger play"

* 同じメロディの日本語の歌と英語の歌：「きらきらぼし」と"twinkle twinkle little star"



4-①. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>①「はらぺこあおむし」日本語絵本の読み聞かせ

* 0歳児クラス：保育者が「はらぺこあおむし」のCDを使用して、CDに合わせて絵本のページをめくり、進めていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

始まる前から大型絵本に興味を示し、自ら近づいていき英語講師、保育体験（小学生）の膝の上に座り見始めた。歌に合わせて身体を動かし手足をトントンさせて楽しく見ていた。

「おなかが痛くて泣きました」のフレーズに合わせて自分の頭を触り「痛い」とポーズしていた。たくさんの果物が出てくると食べる真似をして絵本にタッチしていた。はっきりした言葉ではないが、喃語を話していた。



4-①. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>①"The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）"英語絵本の読み聞かせ

* 0歳児クラス：英語講師が英語で"The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）"を読み聞かせる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

保育者の膝の上に座り集中して見ている子、一人で自由に動き見ている子とみんな絵本に興味を示す姿が見られた。

絵本に近づいて、食べ物に触り嬉しそうに笑い、英語講師が「Hungry」と言いお腹を押さえると真似してお腹を押さえる子もいた。

さなぎから蝶になるとみんな蝶を触りにきたり、一緒に手を広げ蝶になったりする姿もあった。「はらぺこあおむし」の絵本は喜んで見ている。英語や英語講師のジェスチャーを真似する事も多くあった。



5-①. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】日本語の絵本も良く見ているので英語の絵本でも絵が同じため反応はとても良く英語講師の言葉にも反応あり、側によっていく姿が見られた。

【次回への問い】絵本ではなく、素材を変えて例えば手遊び歌だったら子どもたちは日本語でも英語でも同じように楽しめるのだろうか？

4-②. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>②「ぐーちょきぱーでなにつくろう」日本語で手遊び歌を歌う

* 0歳児クラス：保育者が日本語で手遊び歌を歌いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「グー・チョキ・パー」の手遊びを行い、職員の手動きや言葉を聞き目を丸くしていた。右手はグーで左手もグーは「アンパンマン」になると子ども達の反応も良く「アンパンマン」と嬉しそうにしていた。また、数名の子は、キラキラと手を動かす姿があった。

両手がパーの時にお星さまにすると、またキラキラと手を動かしていた。いろいろな形や物になり、子ども達の顔は真剣だった。



4-②. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>②"Rock scissors paper finger play(ぐーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

* 0歳児クラス："Rock scissors paper finger play(ぐーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

英語で「グー・チョキ・パー」を始めると、リズムが一緒なので身体を動かしながら始めていた。講師の動きをじっと見ていてパーとパーでちょうちょうになった時は「Buttefly」イコール「ちょうちょう」と分かったようで、言葉にはしないが、両手をバタバタと動かす動作があった。



5-②. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】日本語でも英語でも初めての手遊び歌だったので、多くの子どもたちは保育者の日本語でも英語講師の英語でも、おこなうのをじっと見ていた。日本語英語に関わらず、じっと見るという行動が同じだった。そして日本語の「アンパンまん」がでてくるとみんな「アンパンまん」と言い喜んでいて、英語では動作を真似して身体を揺らしたり動かしたりと「グーチョキパー」のリズムにのり楽しむ様子が見られた。

【次回への問い】馴染みのある英語歌"Twinkle twinkle little star"を歌うことで子どもたちはどのように反応するのだろうか？

4-③. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>③"Twinkle twinkle little star(きらきらぼし)"英語で歌を歌う

* 0歳児クラス：英語講師が"Twinkle twinkle little star(きらきらぼし)"英語で歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

英語で「きらきら星」を始めると、歌は知っていたので英語講師の手を真似をしながら行う事ができた。きらきらするところになると、手をきらきらと動かす姿が見られた。歌はうなずきながらリズムはとっていた。

英語講師が「Twinkle Twinkle Little Stare」と歌い始めると真似する子ども（はっきりとは言えず）もいた。



5-③. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】英語でのきらきら星はみんなじっと聞いて見ていたり、英語講師や保育者が歌い始めると身体を揺らしリズムに合わせていたことを見ると、この年齢ではことばよりリズムや音楽に馴染みがあると発話をしなくても身体でリズムをとり、音楽や歌をとらえていることが分かった。

【次回への問い】今後日本語が少しずつ獲得する過程で、英語と日本語の区別などがいつから始まっていくのか、ことばの認識がいつから始まっていくのか注意深く観察したい。